

春日井市 地域共生プラン2025

基本理念

出会い つながり 支え合い みんな輝く やさしいまちづくり

地域福祉のススメ

春日井市では、

春日井市
地域共生プラン2025

を策定しました。

市職員A

この計画は、地域の
様々な課題の解決や、
人と地域がつながり合う
「地域福祉」を
推進するためのもの
です。

市民Bさん
「地域福祉」って
なんですか？

「地域福祉」とは、
地域をよりよくするために、
住民がともに取り組む
ことです。
近所の人とあいさつをして
顔見知りになることも
地域福祉では
大事なことです。

ほかには
どんなことが
できるんだろう。

いってきます！

地域では…

もしもの時の
支え合い…

地域活動への
参加…

見守り…

ごみ拾い…

民生委員
Cさん

一人じゃなくて
仲間とともに取り組む
ことが大切です。

自分にも
できそうだ！

地域にどんな人がいて、
どんな支援ができるのか
もっと知りたいな。

そういった人や
活動に
支援が必要な人を
つなぐことも
地域福祉の活動
です。

地域には様々な課題と
それを支援する活動者や
団体などがいます。



ヤング
ケアラー



ひきこもり
状態にある人



ひとり暮らし
高齢者

例えば…

地域には、普段気づきに
くいけど、様々な困難を
抱えている人もいます。



お母さん



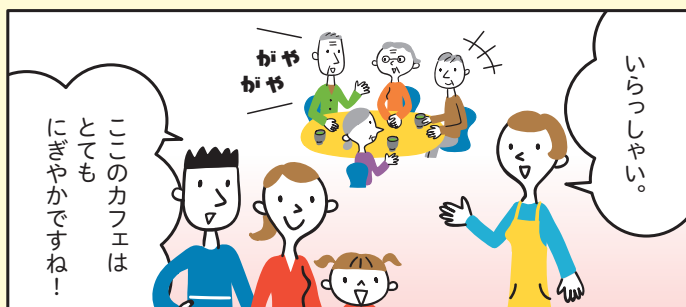
お父さん

登場人物

最近、春日井市に引っ越してきた 家族の日常をのぞいてみよう!



かすがいおれんじプラスカフェってなに?



おれんじプラスカフェとは

認知症の症状がある人やその家族、地域住民の誰もが気軽に集い、交流や情報交換ができるカフェです。安心して過ごせる居場所として市内で30箇所を超える店舗が登録されています。

理解を促すために、
こんな活動も!



認知症サポーター

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の症状がある人やその家族を見守る地域住民のことです。市が主催する認知症サポーター養成講座を受講した人が認知症サポーターとなります。

地域のお祭りは誰がつくっているの?



地区社協(地区社会福祉協議会)とは

高齢者サロンや見守り活動など、自分たちの住む地域にあった取り組みを行い、町内会などと協力しながら、住みやすいまちづくりをめざして活動しています。

住民主体活動とは

自分たちの住む地域が抱える共通の生活課題を解決するため、地域住民が主体となって行われている活動です。交流サロンや居場所づくりなど多くの住民主体活動が行われています。



民生委員
さん



近所の
おばあちゃん



カフェの
店主



地区社協の
おじさん



子ども

地域の困りごとは地域で解決できる？



にこにこヘルプサービスとは

日常生活に困っている高齢者や子育て世帯などに対して、にこにこヘルパーとして登録された市民の方が有償で食事の支度や買い物、電球交換など「ちょっとした困りごと」をサポートする社会福祉協議会の取り組みです。

災害時要援護者支援制度とは

災害時にひとりで避難が難しいひとり暮らしの高齢者や障がいのある人などに対して、町内会や地域の支援者、民生委員・児童委員などが協力し、迅速に避難ができるように支援する市の制度です。

地域を見守るのは誰？



民生委員・児童委員とは

地域を見守る身近な相談相手であり、市や相談機関との「つなぎ役」です。地域住民の一員として、担当の区域において高齢者や障がいのある人への安否確認や見守り、子どもたちへの声かけなどを行っています。

地域見守りネットワークとは

新聞販売店や宅配業者などが業務中に地域住民の異変に気付いたときに、市や消防、警察などへ通報し、受信者が安否確認などを行います。地域の事業者や住民の見守りによって、年間100件以上の通報実績があります。

ほかにも地域で活動している人や団体はたくさんいます！



保護司

犯罪や非行をした人と、定期的に面接し、悩み事の相談にのったり、就労や日常生活に関する助言などを行っています。市では現在59名が、活動しています。



市民後見人

認知症や障がいなどの理由で、判断能力が十分でない人に対して、福祉サービスの利用契約や金銭管理などの支援を行っています。市の養成研修を通じて、必要な知識を身に着けます。



区・町内会・
自治会

地域でのふれあいや交流のほか、清掃や防犯・防災などさまざまな活動に取り組んでいます。近所に住む人たちで自主的に運営している身近で地域に根差した団体です。

たとえば...





計画の基本的な考え方

基本目標

1

支え、支えられる
人と地域を育む

2

安心して生活できる
環境を創る

3

包括的な支援の
体制を整える

施策1

住民主体活動の取組みの強化

多くの住民活動が創設されていますが、活動を支える担い手が不足しています。また、障がいのある人や孤独・孤立状態にある人などさまざまな人が参加できる住民主体活動が求められています。

具体的な取組み

- ① 住民主体活動の拡大の促進
- ② 多様な主体の参画促進
- ③ 支援機関の地域づくりへの参画促進
- ④ 民民協働の推進

施策2

地区社協・ボランティア活動の推進

市内45か所の地区社協が地域で活動を実施しています。今後も、それぞれの地域に根差した活動を実施し、住みやすいまちづくりをめざしていくことが求められています。

具体的な取組み

- ① 地区社協の活動の支援
- ② 誰もが参加しやすい地区社協活動の展開
- ③ ボランティア活動の活性化

施策3

地域の支え合いネットワークの推進

誰もが安心して生活できるように地域見守りネットワークの体制強化や災害時の支え合い活動の推進が求められています。

具体的な取組み

- ① 民生委員・児童委員の活動支援
- ② 見守り活動の強化
- ③ 地域の防災力の強化

施策4

多様な社会参加の促進と居場所づくり

孤独・孤立などの社会的な交流のない人は、早期死亡リスクが高くなるといわれており、安心できる居場所の確保が求められます。

具体的な取組み

- ① 伴走支援の担い手づくりや発掘
- ② つながりづくりプラットフォームの構築
- ③ 新たな場の創出
- ④ 多様な就労機会の確保

施策5

当事者参加と相互理解の促進

認知症や障がいについて、依然として差別や偏見があると感じている人が多くいます。今後は、正しい理解の促進など偏見や差別の解消が求められています。

具体的な取組み

- ① 当事者の想いを発信する取組みの推進
- ② 福祉共育の推進
- ③ 相互理解に向けた周知・啓発活動の推進

施策6

包括的な相談支援体制の強化

各分野の相談支援機関が分野を超えた視点を持ち、相談支援体制のさらなる連携強化が求められます。

具体的な取組み

- ① 支援会議の推進
- ② 多分野の相談支援機関の連携強化
- ③ 支援機関と地域福祉コーディネーターとの連携・協働
- ④ 更生保護活動の支援
- ⑤ 社会復帰に向けた多様な支援の確保

施策7

総合的な権利擁護支援の推進

成年後見制度の利用促進に向けて、高齢者・障がい者権利擁護センターの機能強化が求められています。

具体的な取組み

- ① 総合的な権利擁護支援
- ② 成年後見制度の運用改善
- ③ 権利擁護支援の地域連携ネットワークの推進

施策8

地域共生社会の実現に向けた福祉政策の総合的な推進

今後、本計画の進行管理や(仮称)総合福祉計画の策定に向けて、あらゆる主体や関係各課との協働が求められます。

具体的な取組み

- ① 福祉政策課と地域共生推進課、市社会福祉協議会の連携 など

春日井市地域共生プラン2025【概要版】

編集・発行：令和7年3月

春日井市 / 社会福祉法人 春日井市社会福祉協議会

プランの本編は
市のホームページから
ご覧いただけます。

